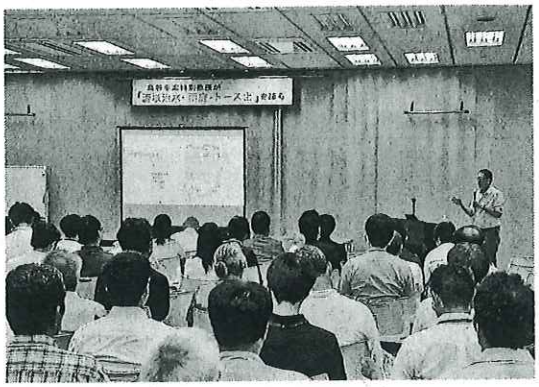
島谷教授が流域治水等で講演

全国トース技術研究組合



全国トース技術研究組合（陣内和彦理事長、福岡県広川町）は20日、広川町産業会館で、熊本県立大学の島谷幸宏特別教授による講演会を開催した＝写真＝。テーマは『流域治水』や雨水を一時的に貯めて染み込ませる『雨庭』、その中で用いられる透水性・保水性の高い改良土『トース土』で、建設業関係者や行政職員、一般市民などが集まり、熱心に聴講していた。

島谷特別教授は、旧建設省土木研究所河川部都市河川研究室長や国土交通省武雄工事事務所、九州大学工学研究院教授などを経て、現熊本県立大学特別教授。「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」JST（国立研究開発法人科学技術振興機構）地域共創拠点のプロジェクトリーダーを務めている。令和2年7月豪雨で球磨川流域が甚大な被害を受けたことを契機とする、10年間の大型研究事業で、産学官が密接に連携しながら、流域治水技術の開発など、五つの研究開発課題に取り組んでいる。

講演会に先立ち、参画機関の一つである、同組合の陣内理事長は、福岡で開発されたトース土とその技術・工法の普及など、組合の活動を紹介。自然災害の軽減・復興や、生活環境の快適化を目指していると語った。

島谷特別教授は、流域治水について「流域とは集水域と氾濫域のことで、治水とはその流域全体で洪水を防ぐだけではなく、豊かな水と共に暮らすためのマネジメントも行うこと」と説明。気候変動などにより、ダムなどの人工的に水を制御する手法だけではなく、いかに川に水が集まらなくするかを考えていく必要があるとし、そのために雨庭など自然の力を活用することが重要だと述べた。

また、流域治水に取り組むに当たり、多様な関係者が協力してイノベーションを生み出す『共創』という考え方が大切だとし、学生や地域住民、企業などとの活動を紹介した。

昨今の気候変動についての解説では、気温上昇に伴う雨量増加や、それによる洪水発生の頻発化についてデータを示し、100年に1回レベルの洪水が繰り返すようになる危険性を指摘。筑後川中流域における、江戸時代からの水害状況の推移を示したグラフも挙げ、現在でも大規模な洪水を完全に防ぐことが難しい現状があると説明した。

その上で、島谷特別教授は、「災害に対応するには小さなエリア内での流出抑制対策、雨水貯留・浸透が重要となる」と述べ、中でも有効な『雨庭』について、構造や多面的な機能・効果を紹介。加えて、トース土をはじめとする発生源対策などの例も、透明なケースに入った実物を見せて説明した。会場に訪れた多数の聴講者は、熱心に講演に耳を傾け、今後の流域治水や、取り組む意義などへの理解を深めていた。

事務次官に水嶋智氏

国交省、7月1日付人事

国土交通省は24日、内閣承認人事として事務次官に水嶋智国土交通審議官を起用することを発表した。発令は7月1日予定。

このほか国土交通審議官には塩見英之総合政策局長、大臣官房長に黒田昌義国土政策局長、総合政策局長に鶴田浩久物流・自動車局長、国土政策局長に佐々木正士郎大臣官房総括審議官、不動産・建設経済局長に楠田幹人住宅局長、都市局長に中田裕人大臣官房土地政策審議官、水管理・国土保全局長に林正道中国地方整備局長、道路局長に沓掛敏夫大臣官房技術審議官、住宅局長に宿本尚吾大臣官房審議官（住宅）、港湾局長に安部賢大臣官房技術参事官（港湾）、航空局長に宮澤康一海上保安庁次長、政策統括官に佐々木俊一道路局次長と渡邊輝財務省大臣官房政策立案総括審議官が新たに就任する。

事務次官に就任する水嶋氏は東京大学法学部を卒業後、昭和61年に旧運輸省に入省。外務省経済協力開発機構日本政府代表部参事官、本省総合政策局公共交通政策部交通計画課長、本省海事局長、本省鉄道局長、本省大臣官房長、鉄道建設・運輸施設整備支援機構副理事長などを歴任した。京都府出身、昭和38年生まれ。

参加表明期限は3日

福祉C長寿命化設計監理

福岡県粕屋町

福岡県粕屋町は、「粕屋町福祉センター長寿命化改修設計監理」について、公募型プロポーザル方式で参加事業者を募集する。プレゼンテーションとヒアリングによる2次審査は、8月19日までに実施し、8月26日までに結果を通知して受注者を決定する。

業務内容は、構造躯体や屋根・外壁・外部建具などの劣化調査、実施設計、積算、設計監理など。

参加資格は、福岡県内に本社を有する法人・企業で、参加表明期限は6月3日。問い合わせ先は国土交通省大臣官房参事官（上下水道）技術情報を新たに募集

今秋、DXカタログ改訂

国交省

国土交通省は、今年3月公開の「上下水道DX技術カタログ」について、さらなる技術収集により内容の充実を図ることなどを目的に、上下水道施設のメンテナンスの高度化・効率化に資するデジタル技術の情報を新たに募集する。募集期間は6月23日から8月8日まで。改訂版のカタログ公開は9月末を予定している。

上下水道施設については、施設の老朽化や管理に精通した熟練職員の減少等が急速に進む中、将来にわたり上下水道サービスを提供し続けるためにも、デジタル技術を活用し、メンテナンスを高度化・効率化させるDXの推進が重要になっている。

このため国交省では今年3月、メンテナンスの高度化・効率化に資するデジタル技術の導入を後押しする観点から上下水道DX技術カタログを公開している。

今回、同カタログのさらなる内容の充実を図るため、技術情報の募集を行い、改訂版のカタログを取りまとめることとしているもの。なお、既に掲載されているカタログについては、掲載技術を保有する法人・企業へ個別に改訂に係る作業を依頼するため、再度の応募資料の提出を不要としている。

問い合わせ先は国土交通省大臣官房参事官（上下水道）

契約候補者にランドブレイン

玄ケ野・高銭野団地PFIアド

筑後市

筑後市は、公募型プロポーザルを進めていた「玄ケ野・高銭野団地集約建替事業PFIアドバイザリー業務」について、ランドブレインを契約の相手方となる候補者に選定した。履行期間は8年9月30日まで。

集約建て替えの整備戸数は124～130戸としている。対象敷地は、玄ケ野団地敷地（約0・9ha、現団地除却、集約建て替え団地建設）、高銭野団地敷地（約1・2ha、現団地除却）で、どちらも大字熊野にある。

八幡西区で店舗新設届け

コスモス薬品

北九州市

北九州市は、「（仮称）ドラッグコスモス千代ケ崎店」の大規模小売店舗立地法に基づく新設届け出を受理し、24日内容を公表した。

場所は八幡西区千代ケ崎3丁目6－4外。建築着工時期については来月末、8年1月末の完成を予定している。設